

事務事業名	単独農地災害復旧事業		所属部	建設部	所属課	農地整備課 (災害復興T)	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	災害復興G		
	施策名	〈34〉農業の振興		担当者名	高木 洋輔		
	目的対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。			
	基本事業	〈097〉農業基盤の整備・保全		電話番号	0854-40-1062 (内線) 2474		
目的対象	担い手農家をはじめとする農家	意図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。			予 算 科 目	
			会計	款	大 事 業 名	農地災害復旧事業	
			0:1	5:5	0:1	大 事 業 名	令和3年単独農地災害
			0:5	1:0	0:6	中 事 業 名	復旧事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災した農地(田、畑)	被災箇所の復旧を図ることにより、農林水産業の維持を図り、併せてその経営の安定に寄与する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	豪雨災害により、畦畔崩壊などの被災を受けた農地(田・畑)を原形復旧するもの。 採択申請要件として24時間雨量80mm以上か時間雨量が大(時間雨量20mm以上)であること、1箇所の工事費が13万円以上40万円未満であること。 起債充当率:74%(小災)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) R3災 被災箇所確認、復旧工事34箇所	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) R3災は非常に甚大な被害であったことに鑑み、特例措置として受益者負担を通常より引き下げている。(通常:4%→R3災:1.35%、担い手に利用権を設定している農地は0%)

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
ア 竣工箇所数(現年災)	箇所	2	0	0	未定
イ 竣工箇所数(過年災)	箇所	3	8	34	452
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
	【R4現年(R3災)】34箇所 工事費:12,494千円 ※地方債:災害復旧債	財 源 内 訳	国庫支出金	千円			
県支出金			千円				
地方債			千円	500	1,700	6,400	133,200
その他			千円	73	93	168	2,462
一般財源			千円	1,679	536	5,926	45,138
事業費計		千円	2,252	2,329	12,494	180,800	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災農地の復旧により、農業経営の維持安定化が図られた。 R3災分については、R5年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、復旧も複数年度にわたる見込みであるが、近接箇所は一括工事にするなど、早期復旧に向け計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県、農家との情報共有を行い、円滑に事業進捗するよう努める。